

GX (グリーントランスフォーメーション) マネジメント支援サービス「Cyanoba」

GXマネジメントに必要なコストデータ・使用量/排出量データを一元管理するGXマネジメントツールの提供により、需要家企業におけるカーボンニュートラル実現に向けて継続的に支援

2050年カーボンニュートラルに向けた「移行期」となる市場環境においては、国ごとの政策やエネルギー価格の変動状況に応じて、最も投資対効果が高いGHG削減対策を選定し、企業全体のGHGデータを一元管理する高度なデータ管理基盤が求められます。当社は、10年以上にわたるエネルギーマネジメント、省エネ法などの外部報告支援における豊富なサービス提供実績を基に、高度なGHGデータ管理基盤であるGXマネジメントツールおよびGXコンサルティングの提供を通じて、需要家企業におけるカーボンニュートラル実現に向けたGX推進を支援いたします。

GXマネジメントの必要性

これまで、多くの国内企業においては、省エネ法などの法対応を前提としたエネルギー使用量や、光熱費の合計値のみをデータ管理対象としてきました。今後、削減対策の意思決定をするためには、エネルギー調達価格の内訳情報（契約単価、再エネ賦課金単価、燃料・原料費調整単価、税金など）を一元管理することが必要となります。その上で、エネルギー調達価格やGHG削減施策コストが市場環境の変化に応じてどの程度変動するのかのシナリオを設定して、GHG削減施策の投資対効果を評価することが求められています。

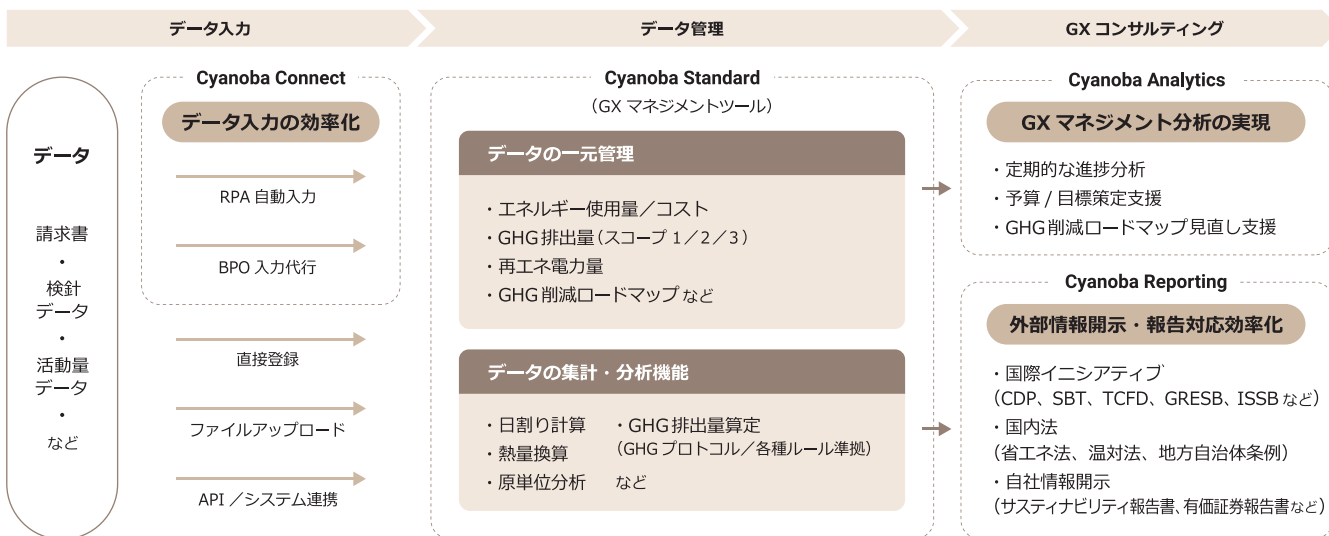
GXマネジメント支援サービス「Cyanoba」の概要



GXマネジメントツール「Cyanoba Standard」の概要

GXマネジメントに必要なコストデータ・使用量/排出量データを一元的に管理するGXマネジメントツールを提供します。また、RPAを活用した自動登録機能と入力代行サービスにより、データ収集を自動化します。これにより、コストデータに基づいた具体的なGHG削減対策の検討が可能となるだけでなく、外部報告の効率化・高度化も実現します。

Cyanoba GX マネジメント支援サービス



GXマネジメントツール「Cyanoba Standard」で実現できること

①具体的なGHG削減対策の検討が可能

- エネルギー使用量・GHG排出量だけでなく、コスト情報を含めて管理し、シミュレーション評価を行うことで、投資計画を含めた分析が可能
- GHG削減対策実施に対するGHG削減コスト評価が可能であるため、ロードマップ改定の際の次のアクション検討が可能

②データ収集/外部報告の効率化・高度化

- エネルギー請求書データの自動登録やスコープ3を含めたGHG排出量の自動算定、各種外部報告の自動作成により、業務の効率化・高度化を実現
- 環境データにおいて、第三者検証の対応効率化を実現

GXマネジメント支援サービス「Cyanoba」における5つのポイント



スコープ3も含むGHG排出量の可視化

- GHGプロトコル(スコープ1、2、3)に則ったGHG排出量の自動算定
- スコープ3に関しては、1次データの活用比率や、取引先別の分析など、実績把握にとどまらず削減に向けた分析機能を実現



データ入力の効率化

- RPAによるデータの自動登録
- スキャンされたファイルに基づく入力代行
- 必要に応じて社内システムからのAPI連携開発可能



GXマネジメント分析の実現

- 投資対効果に基づいた対策優先順位付け
- 省エネ法に準じた原単位分析
- 多拠点のベンチマーク分析
- 使用量/コストの変動要因分析



外部情報開示・報告対応の効率化

- 外部報告ごとのルールに適した熱量・CO₂換算ロジックの実装
- 外部報告ごとに柔軟なアウトプット



市場環境変化に応じた柔軟なロードマップ改定

- 市場環境変化に伴う電力単価およびカーボンリスクシミュレーション分析により、ロードマップ改定作業の迅速化が可能

GXコンサルティングサービス

GXマネジメントツールの提供だけでなく、貴社の状況に応じ、GX戦略ロードマップ策定、外部情報開示・報告対応のレポート作成、エネルギー予算策定、予実分析などの様々なプロセスを専門コンサルタントが支援いたします。

GX戦略ロードマップ策定/改定支援

- 市場動向およびGX施策実施状況などに応じ、ロードマップを改定
 - 現状分析(エネルギー使用量およびコスト分析等)
 - GX施策評価
 - 施策の実施タイミングと削減効果の分析

外部情報開示・報告対応支援

- 国際イニシアティブ(CDP、SBT、RE100、TCFD、GRESBなど)
- 国内法(省エネ法・温対法)
- 地方自治体条例
- 自社情報開示(サステナビリティ報告書、有価証券報告書など)

予実管理支援

- 予算策定支援・予実分析支援
 - 最新の市場動向を踏まえたエネルギー価格の予測に基づいた精緻な予算策定の支援
 - 月次収集される実績データに基づいた、予実分析レポートの作成

進捗分析支援

- 定期的な分析レポートの提供(コスト、使用量・排出量の両面で分析)
 - GHG削減目標に対する進捗分析
 - 再生可能エネルギー導入率分析
 - エネルギー・クレジット単価分析
 - エネルギー使用量・GHG排出量分析、原単位分析
 - クレジット活用状況分析